



# 文化博物館だより 第240号

2008年10月30日

みなさん、こんにちは。10月が終わろうとしています。そして、ドーム展も残すところ、十日余りになりました。

## ● ギャラリートーク2回目、開催

25日(土)、ドーム展2回目のギャラリートークが行われました。午後2時前、館内放送が流れると、お客様が集まり始めました。

今回は、ドームの近年の作品が並び2階ギャラリーでの解説です。堺の大仙古墳の副葬品などの例をあげ、はるか昔からガラスは珍重され、愛されてきた芸術品であるという話から始まりました。

展示室の右手は植物などをモチーフにした色ガラスの作品、左手にはアーティストたちとの協業で作られた作品が、それぞれ並んでいます。ガラスの透明度をあげ、成型時に扱いやすくするため、鉛が30%も含まれていることやガラス板から突き出た角のように見えるフィリップ・スタルクの作品の内部が空洞で、花器として使うことができるものであることなど、解説があればこそ分かる作品の秘密に感嘆の声をもらしながら、参加者は作品に見入っていました。



ギャラリートークの様子

## ● 法道仙人と行基菩薩の時代

今年度の発掘された明石の歴史展は、法道仙人と行基菩薩という伝説的人物からその時代に花開いた加古川流域の古代・中世の仏教文化を紹介しようという展覧会です。会期中の、11月24日(月)、29日(土)、12月7日(日)、14日(日)の4回、記念講演会を開催します。講演会の内容は、毎回違いますので、詳しくは、市の社会教育推進課(Tel. 078-918-5057)まで。参加の申込みも同課で、**11月4日午前9時から**先着順に受け付けます。



【会期】11月15日(土)～12月14日(日) 毎週月曜日休館(11月24日は開館)

【観覧料】一般200円 大学・高校生150円 中学・小学生100円

※20名以上の団体は2割引 高年手帳・障害者手帳の提示で半額

来月の8日(土)と9日(日)には、明石公園で兵庫県民農林漁業祭が開催されます。食欲の秋と芸術の秋を満喫できる機会に、ぜひ明石公園&文博に遊びに来て下さいね！